

今月の経理情報

2004年10月

今回のテーマ： デット・エクイティ・スワップ

過剰債務企業に対する再建手法として、デット・エクイティ・スワップ（以下「DES」）があります。

1 概要

債権者が債権を債務者に現物出資することにより株式を取得します。

債務者は債務が資本に振り替り自己資本が増強されます。

2 イメージ

実行前		実行後		
債権者				取得株式は取得時の時価とし、時価が債権額を下回ったとき、その差額は譲渡損失とされます。
資産		資産		
300		300		
債権		株式		
100		50		
		譲渡損失		
		50		
債務者				資本等取引とされ、債務が資本に振り替わるのみで、損益は認識されません。
	負債		負債	
	200		100	
債務超過	資本		資本	
50	100		150	

3 留意点

1) 債権者側

- (1) 親会社の子会社支援の目的でDESを行った場合において、その支援が合理的な再建計画等に基づかないときは、税務上譲渡損失は債務者に対する寄付金とみなされることがあります。
- (2) 債権の現物出資が適格現物出資に該当する場合、税務上譲渡損失は認識されません。
- (3) 消費税法上、債権の現物出資は非課税売上高となり、課税売上割合の計算に影響します。

2) 債務者側

- (1) 資本金額が増加することに伴って、法人住民税・均等割、外形標準課税の税負担額が増加します。
- (2) 現物出資となりますので、検査役の調査、弁護士、公認会計士、税理士等の専門家による証明が必要となります。

お見逃しなく

1. 対象者が同族個人株主の場合、株主間で贈与の問題が生じるケースがあります。
2. 過剰債務企業に対する支援手法としてDESの他に、金融機関が主導となって行う、デット・デット・スワップがあります。

金融機関が中小企業に対する貸付債権に劣後条件を付すことにより、法律上は借入金のままですが、金融庁の検査においては資本とみなされ（要注意先、要管理先等の中小企業が対象）、追加融資を受けやすくする手法です。

劣後条件には、一般の債権に比べて払い戻しの順序が劣る等の条件があります。